

帯広市は今年9月、東京都武蔵野市にキャンパスを構える成蹊大学と連携協定を締結しました。「本物に触れる教育」をコンセプトに自然や現実社会を教材とした授業を行ってきた成蹊大学が十勝・帯広を視察した際、地域の可能性や事業者の取り組みに共感・共鳴されたことがきっかけで今回の連携協定につながったものであり、学長と協定書を交わしながら改めて前向きな取り組みと出会いの大切さを感じました。

今後、市は学生が十勝・帯広について学ぶ授業や企業訪問などのフィールドワークに協力していくほか、大学側には学生の十勝・帯広への就職促進などに協力いただく予定であり、取り組みの発展に期待しているところです。

昨今、国全体の人口減少や東京一極集中などの流れの中、特に地方から都市部への若者の流出が

り一層顕著になっています。全国の自治体でこうした傾向に歯止めをかけるべく取り組みを進めていますが、そもそも若者たちはなぜ大都市に惹かれるのでしょうか。

10代、20代は進学や就職といったライフイベントが重なる年代であり、より高い給料を得たい、コンサートやイベントなど、大都市ならではの生活や刺激を楽しみたいといった理由のほか、地元や親から離れて暮らしてみたいと思う人もいるかもしれません。若者の視点で考えてみると、地方から大都市に出ていくことはある程度自然な動きのように感じます。

では、若者たちにとって地方は本当に大都市よりも魅力がない所なのでしょうか。大都市特有の複雑さや混乱、そこから生まれる強い刺激は確かに若者にとって魅力的かもしれませんが、一方で、地方においてより感じられる快適さや秩序、自然なども人が幸せに生きていく上で大切な要素です。

近年、交通ネットワークや情報ネットワークが発達し、仕事を含め大都市でなければできなかったことが地方でもできる環境が整いつつあります。そうした時代においては、仕事や生活の利便性、緑や自然など、都市と地方の魅力がうまく融合し、バランスの取れている地域に若者たちは集まってくるように思います。

若者たちが「人生とその豊かさ」について考える時期が来た時、十勝・帯広を暮らしの場や活躍の場として選択してもらえよう、彼らとの接点を大切にしながら前向きな人たちが集まるバランスの取れた居心地のよいまちづくりを進めていきたいと思っています。

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

「選択される」まちづくり

帯広市長 米沢 則寿



今年で13回目の開催となったフードバレーとかちマラソン大会。寒空の下で開催となりましたが、道内外から5463人がエントリーし、秋の帯広の街を全力で駆け抜けました。

ゴール地点となった中央公園ではフードバレーとかちにちなんだ食フェスタを開催。ランナーには参加賞として会場内で使用できる500円券が配布され、各店舗に長い行列ができる盛況ぶりでした。

自然豊かなコースと、地元食材をふんだんに使用した食で、十勝・帯広を満喫いただけたのではないのでしょうか。（10月27日、西2条通、帯広中央公園）

広報広聴課職員が行く！

オビヒロカメラレポ

OBIHIRO CAMERA REPORT



今年で13回目の開催となったフードバレーとかちマラソン大会。寒空の下で開催となりましたが、道内外から5463人がエントリーし、秋の帯広の街を全力で駆け抜けました。

ゴール地点となった中央公園ではフードバレーとかちにちなんだ食フェスタを開催。ランナーには参加賞として会場内で使用できる500円券が配布され、各店舗に長い行列ができる盛況ぶりでした。

自然豊かなコースと、地元食材をふんだんに使用した食で、十勝・帯広を満喫いただけたのではないのでしょうか。（10月27日、西2条通、帯広中央公園）

フードバレーとかちマラソン大会 食フェスタ



10月26日から5日間 にわたり開催した菊まつり。「日高山脈とお花畑」をテーマとした総合花壇のほか、色鮮やかな菊が会場を彩り、来場者の目を楽しませました。

また、徳島市との産業文化姉妹都市締結40周年を記念して、親善訪問団による阿波おどりが披露されました。

他にも、さまざまなステージイベントや物産展、小学生を対象とした将棋大会が繰り広げられるなど、来場者は思い思いにまつりを楽しんでいました。（10月27日、とかちプラザ）

第55回おびひろ菊まつり



パブリックコメント
(市民意見提出制度)

皆さんの声を
まちづくりに
反映

市ホームページID.1004167

問い合わせ 各担当課

各計画の策定に当たり、市民の皆さんから意見を募集します。

計画（原案）および募集要領は、各コミセンや担当課、市ホームページで公開します。意見を提出する場合は**11月27日(水)～12月26日(木)**までに、案件名、氏名、住所、意見を書いて、郵送・持参・ファクス・Eメールのいずれかで担当課へ提出してください。詳細は募集要領を確認してください。

意見の記載例

- 〇〇計画（原案）について、〇〇の目標を掲げてはどうでしょうか。
- 〇〇計画（原案）の〇〇の部分は、市民目線で見ると〇〇なので、〇〇のように見直すと思います。 など

第4期十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）

- 十勝における人口定住を促進するための帯広市と18町村の連携に関する計画
- 担当課企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）

- 人口対策に取り組み、活力ある地域社会の形成を図るための計画
- 担当課企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

帯広市未来のための行財政推進プラン（原案）

- 将来にわたって必要な行政サービスを安定的かつ確実に提供するための計画
- 担当課人事課（市庁舎5階、☎65・4108）

第四期帯広市アイヌ施策推進計画（原案）

- アイヌの人たちの誇りが尊重される地域社会の実現を推進するための計画
- 担当課地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4146）

第四期帯広市地域福祉計画（原案）

- 人と人が世代や分野を超えてつながり、支え合う「地域共生社会」の実現を図るための計画
- 担当課地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4113）

第3次おびひろ男女共同参画プラン中間見直し（原案）

- 誰もが個性や能力を十分に発揮し活躍することができる男女共同参画社会の実現を推進するための計画（見直し）
- 担当課市民活動課（市庁舎3階、☎65・4134）

第3期帯広市子ども・子育て支援事業計画（原案）

- 地域の子育てニーズに合わせた幼稚園や保育所、子育て支援施策などの確保方を定める計画
- 担当課こども課（市庁舎3階、☎65・4158）

第4期帯広市消費生活基本計画（原案）

- 市民の消費生活の安定および向上に向けた消費者施策を推進するための計画
- 担当課商業労働課（市庁舎7階、☎65・4132）

第4期帯広市中心市街地活性化基本計画（原案）

- 目指す中心市街地の姿や目標を地域で共有し、取り組みを進めるための計画
- 担当課商業労働課（市庁舎7階、☎65・4164）

第6期帯広市農業・農村基本計画（改定原案）

- 農業・農村の持続的な発展に向けた取り組みを進めるための計画の改定
- 担当課農政課（川西町基線61、農業技術センター内、☎59・2323）

第5期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）

- 家庭・地域・学校などが連携し、子どもの自主的な読書活動を推進するための計画
- 担当課図書館（西2南14、☎22・4700）